

お盆を迎えます。

お盆には本堂は開けてありませんので、中に入り、仏さまに手を合わせましょう。

盆施餓鬼塔婆供養

八月二十日(日)

午後一時より

☆昼食の用意がございます。



今年は、六月の低温と少雨のため、花の開花が遅れておりませう。お施餓鬼の頃に蓮の開花が見られるといいのですが!?

盂蘭盆施餓鬼会と塔婆供養、塔婆お炊き上げ

近年、当山では盂蘭盆施餓鬼会と川施餓鬼会を合わせて同日に行っています。今年は八月二十日(日)に行われます。経木塔婆を流し先祖の御供養をいたしましょう。



また、お盆の期間本堂は開けてあります。お墓参りの折りには、本堂に上がって合掌し心静かに「南無妙法蓮華經」と三回唱えましょう。仏様の御加護を感じとれると思います。

中興転地百五十年記念、参道新設工事が始まった

中興転地百五十年記念参道新設工事を発願し、冬季の降雪・凍結時に対しても常時通行可能な消雪道路を実現すべく工事が始まりました。

六月二十二日に上行寺役員並びに工事施工者(坂田工業(株))の関係の方々で安全等を祈願して「仏式地鎮祭」が行われました。基本工事は十一月頃までには完成する予定です。勸募金も今のところ順調なすべり出しでございませうが、工事完成時には大方の納金が必要となりませう。それまでには勸募目標額が達成できればと願っております。社会的・経済的にも不安が広がる状況の中で恐縮ではございますが、ご支援ご協力のほど重ねて宜しくお願いいたします。なお、上行寺本堂内入り口付近に七月末までの完納者一覧が掲示してございます。



～塩と酒でお清め～

畠山重忠公を偲んで法要が行われた

重忠の命日は六月二十二日だが、当山ではひと月遅れの七月二十二日前後の日曜日(今年は二十三日)に、毎年「重忠まつり」と称し集落の人々が集い当山金子光昭住職の読経のもと重忠公の遺徳を偲びつつ供養している。今年は降雨のため近くの楡原八幡宮内に祭壇を設けてお参りを行った。古く江戸時代から続いている



供養祭で、小学生の「奉納踊り」と村人を交えた「重忠踊り」、また、公の力自慢にならった「石投げ大会」・景品抽選会などのイベントも行われ地域活性の一翼も担っている。

平和を祈る梵鐘の音が上行寺境内に鳴り響く

「平和の鐘を鳴らそうin上行寺」が昨年につづき開催された。清々しいバイオリンとピアノの演奏で幕が開けました。高桑幸一会長と西禅寺(富山市猪谷)の戸田哲彦住職のあいさつの後、「わたしの平和宣言」を参加者全員で唱和した。楡原中学校が修学旅行で訪れた広島市で見た「原爆の子の像」と「折り鶴」の関係について発表し、アメリカの博物館に三百五十万羽の折り鶴を寄贈する「折りづるプロジェクト」に参加しようと呼びかけた。折り



方を互いに教え合いながら全員が折り鶴を折り、当地区の子どもたちが前もって折っておいた鶴と合わせて、二一六一羽の折り鶴を寄贈することになった。最後に参加者一人ひとりが平和への思いを胸に刻みつつ鐘楼の鐘を心を込めて撞き、その音は集落全体に鳴り響いた。

